学校だより

和

第 21 号

三 和 中 学 校

発行　與島　康仁

1学年　福祉講話開催 ！

パラアスリート 秦由加子（はたゆかこ） 選手

十二月二十一日、一学年総合福祉体験学習の一環としてパラトライアスロン リオデジャネイロ大会入賞者の秦由加子選手をお招きし、貴重な講話を拝聴しました。

今回の講話は糸満市社会福祉協議会からの紹介により複数の団体との共催で実現したもので、困難の中から不屈の精神で前向きな努力を積み重ね、夢を実現した本物のアスリートによる体験に裏付けされた貴重なお話でした。

福祉講話を聴いて

一年一組　高嶺杏雛

私が今日の講演会で思ったことや学んだことは三つあります。一つ目は一つの判断で未来が変わることです。由加子先生が足を切るか残すかで今生きていなかったかも知れないと知ってすごくおどろきました。また、男の子の話も聞いて、とても心がいたみました。でももし自分が同じ立場になったら「足を残す方を選んでいたかもな」と思いました。二つ目は自分がどう生きたいかということです。由加子先生も義足であることを恥ずかしがらず「自分はこうゆう人間なんだ」と自分のことを受け入れている姿を見てすごくすてきでカッコイイなと思いました。自分の悩みも自分がどうしたいか考えることで人生変わるんじゃないかと思いました。

自分も厳しい選択をされたとき、由加子先生の講話を思い出してつなげていきたいなと思います。今日はありがとうございました。

一年二組　村山　結愛

私はパラリンピックについて、少しは知っていたけれど、義足をつけて走ることがこんなにきついということは初めて知ったので、こうして私たちの前でパラリンピックに出ている本人が話してくれるというのは本当に良い機会だなと感じました。

また、秦さんは私たちと同じ年齢の時に骨肉腫というガンにかかっているので、とてもつらく苦しかったんじゃないかなと思いました。

しかし、秦さんは今堂々と義足をつけて生活をしていると聞いて、とてもかっこよくて素敵だなと思いました。

また、自分次第で人生は大きく変わるという秦さんの言葉がとても印象的で、私はこれからこの言葉を信じて一生懸命に生きていきたいなと思いました。

そして、自分がどう生きていきたいかということを、しっかり考えていきたいなと思いました。

サッカー 一年生大会

一年　屋宜　遼

僕は一年生大会に出ました。西崎中との合同チームでやりました。最初の試合は西崎中でやり、無事二試合とも大差で勝てました。

準決勝まで行き、準決勝も三対０で勝てました。決勝まで行き、相手は大里中で小学生の時は大差で負けていました。賀七斗さんもスーパーゴールを決めたり、僕もゴールを決めて五対四で勝つことができました。勝ったときはとてもうれしかったです。西崎中と一緒に戦ってあまりコミュニケーションをとれなかったので、次会ったときは話せるようにしたいです。

西崎中と一緒に一年生大会で優勝できてよかったです。